

オリザ油化株式会社 SupplySide West 出展のお知らせ

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市/代表取締役:村井弘道)は、2022年11月2日から11月3日まで米国ネバダ州ラスベガスで開催をされた健康食品素材を中心とした展示会である、「SupplySide West2022」に出展したことを報告した。同展示会は今年で25回目を迎え、健康と栄養の専門家が一堂に会する世界最大級のイベントとして知られている。

世界レベルで展開をする商社である、Maypro Industries 社(本社:米国ニューヨーク州)とともに、出展し、現在同社を通じて北米でプロモーションをしている桜の花エキス(製品名 Florabella®)、紫茶エキス(Alluvia®、PurpleForce®)を中心に紹介を行った。

桜の花エキスは2010年4月に世界に向けて上市し、高い抗糖化作用(AGEs 産生抑制・AGEs 分解促進作用)が確認され、特に AGEs の産生抑制効果は、日本・米国・中国・マレーシアで特許を取得している。臨床試験においても、体内の AGEs の減少効果や、そばかす量の減少効果が確認され、抗糖化素材として、日本国内のみならず、北米・東南アジア・欧州で、食品・化粧品問わず、数多くのお客様で採用を頂いている。また、本年2月にはタイ王国食品医薬品承認局(FDA)から新規食品(Novel Food)として承認をされていることから、世界各国での販売が期待される。

紫茶エキスはダイエット訴求を「Alluvia®」、運動機能訴求を「PurpleForce®」のブランド名で展開をしている。2020年に米国で臨床試験を実施し、「PurpleForce®」の経口摂取による運動機能パフォーマンス向上作用、運動後の疲労回復促進作用及び、筋肉のポンプアップ効果等を確認し、本年9月には「PurpleForce®」及び主たるポリフェノール成分である「GHG」において、筋肉の代謝効率を高める(AMPK 活性化作用)特許を米国で取得していることから、特に「PurpleForce®」は、スポーツニュートリション大国の米国において、スポーツ向け素材として市場を牽引していくことが期待される。

また、SDGs 活動の一環として、国際 NGO プラン・インターナショナルを通じて、紫茶の売り上げの一部をアフリカ支援プロジェクトとして寄付する活動を実施し、地球規模の持続可能な世界の実現へ向けて取り組みを見せている。

加えて、オリザ油化の基幹製品である米由来セラミドの「ORYZA CERAMIDE®」は Anderson Advanced Ingredients 社(本社:米国カリフォルニア州)とともに紹介した。オリザ油化は食べる米由来セラミドのパイオニアとして1999年に同製品を上市して以来、20年以上、常に新しいデータを発信し続けており、日本のみならず世界中へ供給し、数多くの製品へ採用されている。最近のオリザ油化の研究では「ORYZA CERAMIDE®」中の第3の成分として、ヒト型セラミドと同じ構造を持つ Elasticamide が含有されていることを明らかにし、既存のグルコシルセラミドやβ-シトステロールグルコシドよりも強いブライトニング・保湿作用があることを報告している。更に本年5月にはカナダ保健省により、「肌に潤いを与える効果」「肌の水分補給を保持する効果」「肌の健康をサポートする効果」の3つのヘルスクレームの承認を取得したこともあり、更なる拡販が期待できる。

今後もオリザ油化では積極的に海外の展示会へ参加し、同社機能性食品・化粧品原料を世界に向けて発信・提案をしていくこととしている。